

私と杖道 清家 権一さん(城辺甲)



愛媛
CATV
動画



▲東京で絵師をしているお弟子さんから贈られた龍の絵と記念撮影する清家さん



▲免許皆伝には杖術だけでなく鎖鎌など他の武術も修める必要がある。

▼大人と一緒に小学生の児童も稽古に励む。



“男女を問わない平等な武道。それが杖道”

愛南警察署の道場で開かれている杖道教室で指導を務めているのが、神道夢想流免許皆伝・杖道教士7段の腕前を持つ清家権一さんです。大学で杖道部に所属したことがきっかけで杖道を始めてから、50年近くが経つと言います。教員を退職した現在、ツタンカーメンエンドウの栽培や蟬の写真撮影など多彩な活動の一方で、清家さんは指南役として今も熱心に杖道に携わり続けています。

杖道は、型武道であるがゆえに男女に関係なく始められると清家さんは言います。「防御を主体とした武道ですので、護身術にもなります。さらに体の左右を均等に使いますので、健康にも良いと思います」とさまざまな魅力を語る清家さんは、この町でも杖道が多くの方に広まってほしいと願い、指導を務めています。

昨年は、清家さんが教えている小学生3人が県の杖道大会で優勝・準優勝・敢闘賞を受賞しました。型を覚えるのが早いという教え子たちの成長を喜びながら、「今こうして小学生の子どもたちが稽古に来てくれていますので、学校関係を中心に杖道を広めていければと考えています」と、これからも杖道の未来と発展のために力を尽くしていく意志を見せました。

杖道とは

400年以上の歴史を持つ伝統的な武道の一つ。夢想権之助勝吉によって創始された神道夢想流杖道が起源とされます。

杖道は攻撃が主ではなく、棒状の杖を持って相手を制することに重きを置きます。試合では打ち合いによる勝敗ではなく、型の完成度や美しさをもって競い合います。

編集後記

成人された皆さんの中には、コロナ禍の影響を受けながら学生生活を送られた方も多かったと思います。そんな皆さんが、マスクをとって晴れやかな笑顔で記念撮影をされている姿が印象に残る成人式でした。

新成人の皆さん、ご家族の皆さん、ご成人誠におめでとうございます。大人として一つの節目を迎えた皆さんの未来を、私たちもふるさと愛南からずっと応援しています。

1月中旬まで交通安全のシンボルとして飾られていた警察署の立派なジャンボ門松。制作風景を間近で見学(取材)しながら、中学生と一緒に私もいろいろ教えてもらいました。

今回のような門松づくりや各地区で行われるしめ縄づくりは世代間交流の貴重な機会であると感じたと同時に、将来は私も地域の子もたちに何かしら教えられる地域のおっちゃんになっていたいと思いました。

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895) 72-1211 FAX：(0895) 72-1214

愛南町の世帯数と人口

令和6年1月1日現在

世帯数	9,928世帯 (-13世帯)
人口	19,038人 (-42人)
男	9,021人 (-18人)
女	10,017人 (-24人)
愛南町の高齢化率	46.8%

※ () 内は前月比

●10年前 同月の人口 24,026人